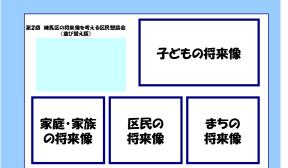
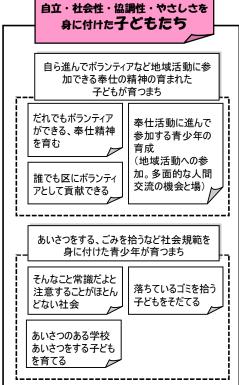
第2回 練馬区の将来像を考える区民懇談会 (並び替え版)

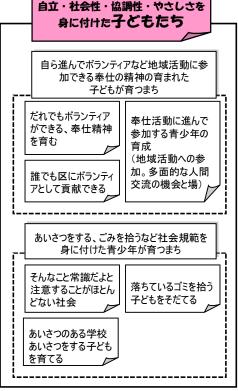
- 個人の記入カードはそのままです。
- グルーピングを若干変更しています。 (グルーピングの変更点は、元のペーパーと比較してく ださい。)
- 皆さんの討議を受けて、練馬区のまちや人の将来像 をイメージする文章にしました。

(文章化しておくことで、前回の議論のふり返りができ ます。また、各々の将来像を実現するため、現在何 が問題となっているのかなどの議論がしやすくなります

■1頁目には子どもや区民などの将来像を、2頁目に は、制度や仕組みの将来像をまとめました。







個性や多様性を受け入れ、他者を思 いやる心をもっ子どもたち

生きるものの命の大切さを知り、他者を尊重 しつつ、思いやりを持てる心を持つ 子どもが育つまち

命を大切にする心や 思いやりのある小中 学生の育成。

練馬の地を愛するや さしい心、思いあう 心。

> だれも区別されることがなく、ともに社会のメ ンバーとして生きられる社会(まち)

どんなに重い障害が あっても分け隔てら れることがない。

障害児(者)が素晴 らしい個性の持ち主 として尊重されるノー マライゼーション状態。 命・人権・食べ物の の大切さを一人ひと りが十分に認識して いる。

普通学級にハンディ のある子どもが在籍 していることを、いわ ゆる健常者やその保

できる。 護者が感謝している 状態。

自分自身を大切にし、健康・元気で のびのびとした子どもたち

> 健康、元気で、のびのびと 子どもが育つまち

スポーツ、勉強に意 欲を持てる。

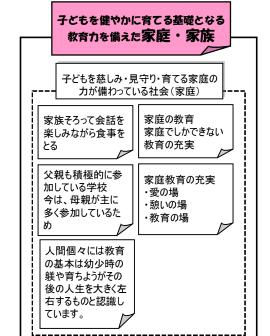
スポーツサークルの 活性化。

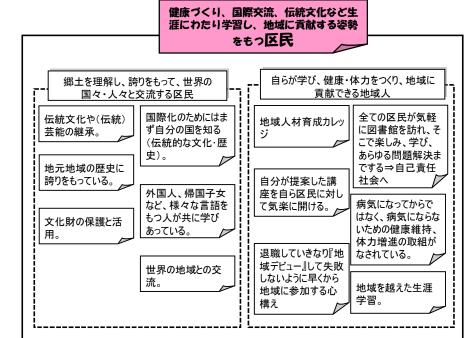
健康で活力(体力) のある小中学生の 育成

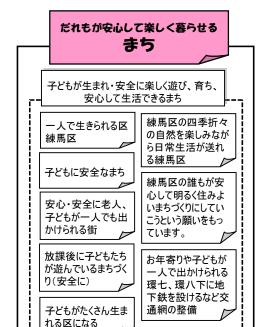
幼・小・中・高の児 童・生徒がのびのび と、はつらつと、自分 の良さに自信をもっ ている状態。

一人ひとりの子ども が他の人の顔色を 気にサず自己主張

自分自身を大切に思う心・前向きに生きる 意欲がある子どもが育つまち







子どもの学力・心の教育を地域の責任 と裁量で推進していく教育改革

教師の独自採用、民間などからの採用など により、指導者として資質の高い教師を 配置していく

練馬区独自での教 員の養成・採用。

される教師の育成、 環境づくり。

小中学校の学校経 営に企業出身者を 校長に迎えて学校 ブランドカ向上を図

小学校1年~6年 まで責任を持って指 導してくださる先生 (子どもに対して熱 い思いがある)

子ども、親から尊敬

学校教育に道徳学習の時間を設け、 徳・義の心を育んでいく

いじめのない教育 意見交換は大いに 良い。

道徳教育の大切さ (教える側もいかに 大切、必要と感じる か)

人を思いやる心(道 徳、モラル)の充実。

道徳的情操教育の

地域の責任と裁量のもと、着実な教育改革 が進められていく

児童生徒の知的発 達段階と(それとは 必ずしも一致しない) 身体的発達段階に 適応した小中学校

の教育制度。

週5日制を見直し、 月数回を授業を含 めた行事にあてる。

絶えずPDCAが行わ れ着実な改善が進 められている状態

教育委員会を文科 省の下請けとせず、 練馬区の教育改革 の司令塔として機能 させる。

地域・民間など多様な人々が教育に関わり、 着実な学力と生きる力を習得していく

言語力をしっかり身 につけた子どもたち (すべての教科にお いて筋道をつけて考 え・話す)

練馬区は公立校の 割合がかなり高いが、 民間のノウハウを入 れるためにも私立校 を増やす。

子どもたちの心身の健全育成のための 学校・家庭・地域の連携づくり

学校・家庭・地域の連携 コミュニケーションを促し、区民全体で 子どもの教育環境をつくる

連携

学校・家庭・地域の

更なる地域・学校・

家庭との連帯・協力

公立・私立の差がな

〈区民に提供する

それには夫婦愛和

のもと、常に子どもの

養育に関心を示し、

見守っていくという親

の姿勢が大事です。

自己中心の生き方

をやめ、人や世のた

めに役立つ生き方を

根気よく指導してい

きたいものです。

学校と地域の方々 が参加できる(いろい ろな行事等)

学校•保護者•地域 が条件に応じて本 音で協働できる状

熊

地域での活発な交 流・コミュニケーション

相互に連携のとれた 家庭教育•学校教 育・社会教育の推 進

家庭教育や社会・ 生涯学習の充実

他者への気遣い・配慮の心を醸成するための 異年齢の交流・ふれあいの環境をつくる

幼・小・中・高の連 携、関係性を濃密 にする。

幼稚園・小学校・中 学校の交流を深め、 他の学年を知る。

子どもが子ども自身 で子ども間の問題を 解決していく状態-ピア・サポート。

学校と図書館、ふるさと文化館を連携させ、学校における体 験学習を充実させていく

小中学校の授業と図書館 ふるさと文化館と連携させて、 体験を通して考える学習を 行う。

漫画を含む本との幸せな出 会いができる学校図書館・区 立図書館と学校教育 (感想文要求型でなく)。

家庭・地域・学校が連携することで、不登校やいじめなど 学校の問題行動をなくしていく

幼・小・中・高校で、問題 行動(暴力・いじめ・不登 校)がほとんどない状態

不登校をなくす

環境や区民の楽しみなどに配慮した 施設整備

楽しむ・競う・観るなどスポーツの多機能性 を活かし、他区に誇る スポーツ施設を充実させる

地域体育館はある が、観覧席のある武 道場を作ったらどうか と思う。

設にする。 陸上競技場も1面 で機械操作ができ ず手作業で行ってい る。大泉に都の施設

テニス、水泳競技場

も観覧席のある施

野球場が少ないた め春・秋の2大会開 催で夏の大会が実 施できない。観覧席 があるが中途半端。 のある野球場を考え 観覧席がある競技 場を作る。

体育館7館の内6 館が完成し、現在 豊玉、中村で練習 が始まっています。 地域の体育館は充 実していますが観覧 席のある体育館を1 館考えたい。(70万 区民のため)

る。

(観覧席のあるス ポーツ施設を作る) ことを考えると光が 丘公園の運動施設 を区が総合スポーツ センターという大都 市練馬にふさわしい 夢と希望と感動を与 えられるような施設 を考えていきたい。

ふれあい・学びのための多様な機会を有する 地域の核としての学校づくり

学校は地域の核として、地域の力を活用した特色ある 学校づくりを進め、学びの複合的な機能を有していく

学校と地域と家庭を連

携させた地域本部をつく

り、現在、学校や家庭で

はできないことを補完しつ

つ、地域コミュニケーショ

幼・小・中学校とシニアス

クールをハード(場所)も

ンをつくる。

各学校の特色が見える

学校は地域力の積極的 な活用を

地元地域の人との交流 が盛んな学校

学区と区域の違い

学校は地域に根ざした

開かれた学校に

ソフト(授業等のかかわ り)、一体化させる。

学校を生涯学習の拠点

学校を地域のセンターに カルチャーヤンター

ヘルスセンター

・コミュニティセンター

体育館、児童館、敬老 館、保健所がばらばらに 機能するのではなく交流 しあえる施設。

色々な世代が参加でき るプログラム(催し)の充 実(区単位でなく、地 域・学校ごとに)

年齢を超えてふれあい・交 流の機会を生む生涯学習 環境をつくる

高齢化社会になり誰も が交流できる練馬区。

年齢にこだわらず教え あう環境。

自分が学びたいと思うこ とをだれでも学べる。

人と人との交流をできる だけ多くできたらいい。

幼・小・中・高・大… 様々な世代の子どもが 同じ場所で触れ合って いる。

自然や環境に配慮した学校・スポーツ施設 等の整備を進める

温暖化に伴う勉強 しやすい設備

緑の多い学校

健康維持のための 公園間を結ぶサイク リングロードの新設

温暖化対策として 高層ビルの屋上庭 **園が義務付けられて** いる先進区。

教育改革

学校·家 庭·地域 の連携

施設整備

地域の核としての 学校づくり

第2回 練馬区の将来像を考える区民懇談会 平成19年9月25日